

| 科目番号  | 授業科目名 | 単位数・学期 | 受講年次 | 授業区分 | 担当教員名    |
|-------|-------|--------|------|------|----------|
| 90241 | 芸術学研究 | 2単位 通年 | 1・2  | 講義   | 長嶺 亮子(非) |

### ■テーマ

「芸術」を言葉で記す方法を身につける。

### ■授業概要

学術論文を書く上で重要な、先行研究資料の検索と入手の方法、論文中での参考資料の提示方法、論文の構成方法といった基本ルールを学ぶ。また、プレゼンテーションやプログラムノート、作品解説といった、論文とは異なる「文章を簡潔にまとめる」方法を身につける。

### ■学習目標

論文執筆の基本ルールを理解した文章が書ける。

### ■授業計画・方法

芸術表現研究領域の学生を対象とする。授業は前期と後期あわせて15回とし、スケジュールおよび内容の詳細と回数は授業初日に受講生と相談した上で計画する。講義のほか、学生による演習を適宜おこなう。

1. 先行研究資料の検索と入手の方法（3回程度）
2. 論文中での参考資料の提示方法（3回程度）
3. 論文の構成方法（3回程度）
4. プレゼンテーション（3回程度）
5. プログラムノートと作品解説の書き方（3回程度）

### ■成績評価の方法

【方法】出席および課題に基づき評価する。

【基準】到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

### ■教科書、参考文献等

教科書は指定しない。必要に応じ授業毎にプリントを配付する。以下の文献を講読しておくことが望ましい。

小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術（講談社現代新書）』講談社、2002年。

東京藝術大学大学院音楽研究科リサーチセンター『芸術実践領域（実技系）学位論文作成マニュアル』東京藝術大学大学院音楽研究科リサーチセンター、2013年。